

可決された主な議案

◇特例市の指定に係る申出について

特例市への移行に必要な法的手続きとして、特例市の指定を総務大臣に申し出るものです。

◇熊谷市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、寄附金税額控除、公的年金からの特別徴収制度および上場株式等に係る配当所得に係る市民税の課税の特例の新設等を行うものです。

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意

島田 道郎氏
馬場 員夫氏

請願の審査結果

六月定例会では、次の請願を審査しました。

◇国に対して後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書の提出を求める請願
(審査結果・不採択)

◇ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願
(審査結果・採択)

関係機関に意見書を提出

六月定例会では、次の内容の意見書を委員会提出議案として上程し、原案どおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に提出されました。

◇ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書

委員会での主な質疑

総務文教常任委員会

特例市の指定に係る申出について

問 本市が特例市に指定されることに對して、市民の方々の関心が薄いように思われる。今後は、いろいろなPRが必要と考えるが、見解を伺いたい。

答 特例市に関する特集記事を六月からホームページに掲載しているが、今後とも市報やホームページを通じて、市民の皆様へ周知するため、さらにPRを図ってきたい。
(所管課・企画課)

福祉環境常任委員会

熊谷市ホームヘルプサービス条例の一部を改正する条例について

問 障害者自立支援法の制度と、この熊谷市ホームヘルプサービス条例の制度には、利用者にとつてどのような差異があるのか。

答 障害者自立支援法では、利用料金の一部が個人負担になる。例えば、一時間当たり千五百円のサービスをを受けた場合に、百五十円が利用者の負担となる。それに対して熊谷市ホームヘルプサービス条例では、利用者世帯の所得階層区分による段階的な負担額になっている。
(所管課・障害福祉課)

市民産業常任委員会

財産の取得について
(消防ポンプ自動車)

問 昨年度も消防ポンプ自動車を四台取得したが、今回の車両は同型のものなのか。

答 昨年度、分団用として取得した車両と同型だが、今回、常備車両として配置するため、特殊な薬剤と混合することにより少量の水で

大きな消火効力が得られる「泡消火システム」や、六百リットルの容量がある水槽など特殊な装備を搭載している。
(所管課・警防課)



消防ポンプ自動車

都市建設常任委員会

市道路線の認定について

問 市道路線の認定は、これまで旧市町それぞれの基準で行われてきたが、整合性を図るため、今後どのように取り組んでいくのか。

答 過去の経緯等があるため、直ちに完全な統一化は困難と考えている。しかし、一つの市に複数のルールがあつてはならないので、市の要綱に基づき適正に統一を図られるよう努めていきたい。
(所管課・管理課)

会議録の閲覧について

市議会では、本会議の様態を記録した会議録を作成しています。六月定例会の会議録は、議会事務局、市役所情報公開コーナー、行政センター、図書館、市議会ホームページなどで9月上旬から閲覧できます。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

編集だより

ここに、市議会だより第十二号をお届けいたします。本号では、一般質問の要旨をはじめとする六月定例会の概要等を紹介しました。

これからも市民の皆さんと市議会を結び紙面づくりを目指してまいりますので、お気づきの点がありましたら、ご意見等をお寄せください。

議会報編集委員

- ◎泉 二良 ○松本貢市郎
- 加賀崎千秋 笠原 秀雄
- 山田 忠之 林 真佐子
- 並木 正一 三浦 和一
- 加藤 恒男
- (◎委員長 ○副委員長)

